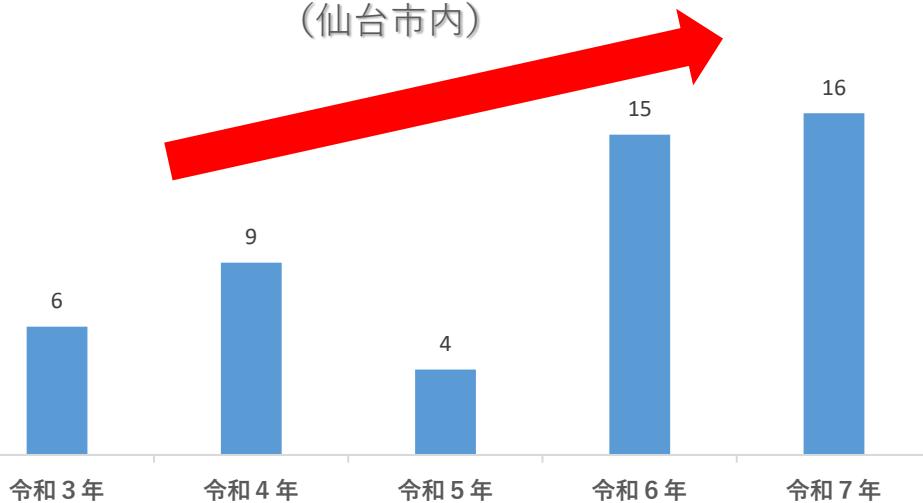


こんな火災をなくそう！（リチウムイオン電池等の火災編）

リチウムイオン電池等は、ノートパソコンやスマートフォン、モバイルバッテリーなど様々な電気製品に搭載されており、私たちの生活にはなくてはならないものとなっています。それに伴い、リチウムイオン電池等を起因とする事故（火災等）が増加しています。

リチウムイオン電池等による火災件数
(仙台市内)



総務省消防庁の調べでは、リチウムイオン電池等から出火した火災は、全国で令和4年1月1日から令和7年6月30日までの間に2,872件発生しており、事故件数は増加しています。

仙台市内でも令和7年中にリチウムイオン電池等が原因となった火災が16件発生しています。

リチウムイオン電池から出火した事例



スマートフォンに内蔵されているリチウムイオン電池から出火した事例です！

落下させたり、ぶついたりする等の衝撃によりリチウムイオン電池が**ショート（短絡）**することで、火災が発生する危険性があります！



伊達家伯記念會協力

防火のポイント！

- 1 お手持ちの製品が**リコール対象か確認し、リコール対象の場合は不具合が生じていなくても速やかに使用を中止して**、購入した販売店や製造・輸入事業者にご相談しましょう。NITEのホームページにおいて、リコール情報の検索を行うことができます。
NITEホームページURL：<https://www.nite.go.jp/jiko/jiko-db/recall/search/>
- 2 リチウムイオン電池等を搭載した製品は、衝撃を与えないよう**丁寧に扱**いましょう。
- 3 **分解や改造**は絶対にやめましょう。
- 4 不要になったリチウムイオン電池等を搭載した製品は、**正しく処分**しましょう。家庭ごみ指定袋やプラスチック資源指定袋の中に、リチウムイオン電池等が混入していたことにより火災が発生しています。下記の仙台市のホームページにおいて、処分方法等について確認することができます。
仙台市ホームページURL：
<https://www.city.sendai.jp/haiki-kanri/kurashi/machi/genryo/gomi/wakekata/battery1.html>

*下記の状況に該当する場合は使用を中止して、販売店や製造事業者等に相談しましょう。

- 充電できない
- 充電中に以前より熱くなる
- バッテリーが膨張している
- 不意に電源が切れる
- 落とす、ぶつけるなどで強い衝撃を与え一部が変形している